

大使館安全情報
【邦人被害強盗事件に伴う注意喚起】

2015. 4. 6

在アルゼンチン日本国大使館
警備対策官兼副領事

事件①「車両パンク強盗被害」

【日時】2015年3月10日(火)23:00頃

【場所】カンパーナ市からブエノスアイレス方面へ向かうRuta9道路上

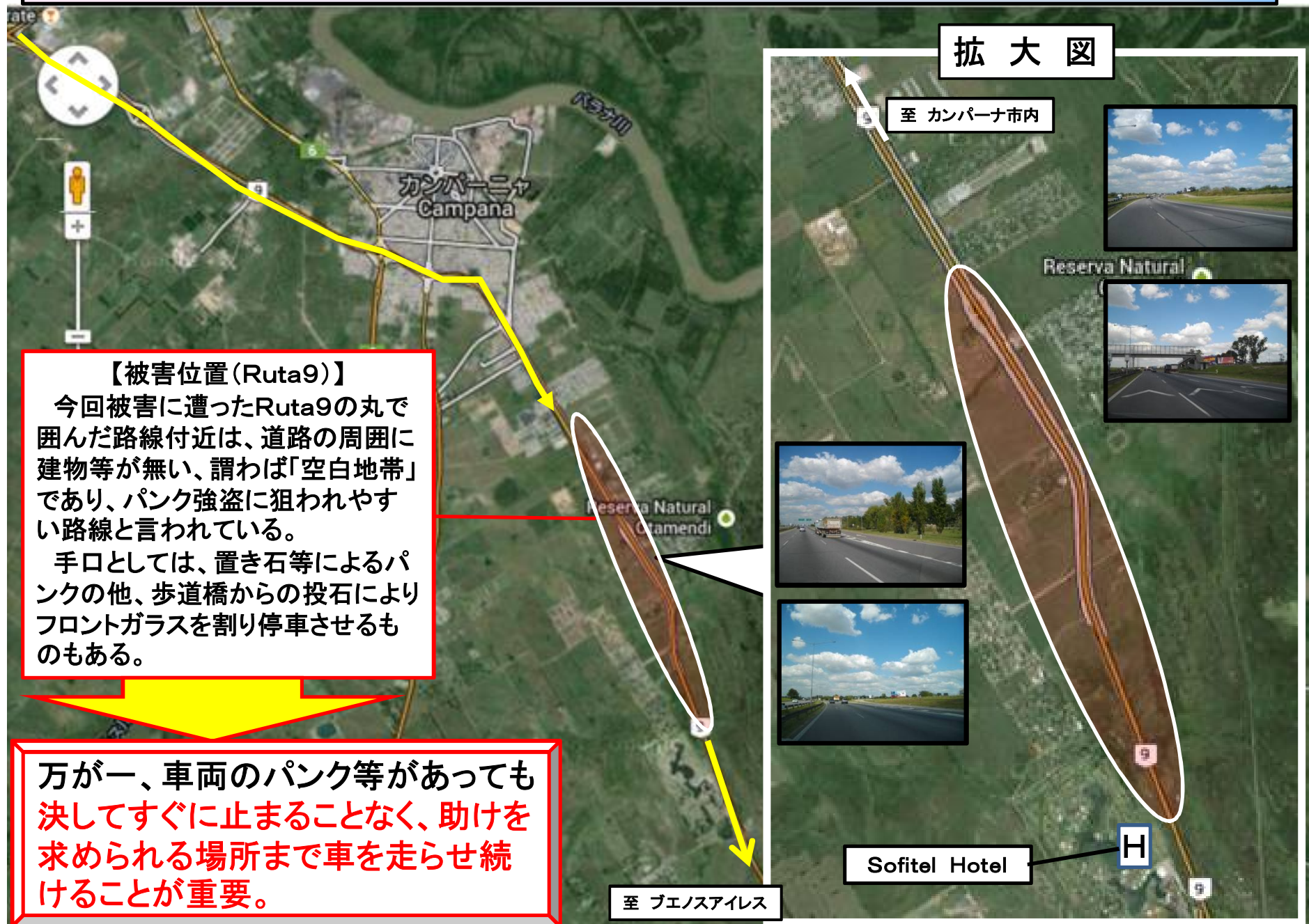
【被害】暴行、パスポート、DNI、家の鍵、携帯電話、PC、財布(現金・カード・免許証等)

【怪我】顔面及び首筋付近の打撲、唇切創

【概要】

邦人男性が職場から車両で帰宅途中、**突然タイヤがパンク**したため、運転手がパンク修理のために車両を路肩に停車し修理していたところ、**現地人2～3人組の強盗(20代くらい)が車に駆け寄り**、車外に居た運転手を暴行した。邦人男性は後部座席で座っていたが、強盗が運転席からドアロックを解除し、**後部ドアを開けて邦人男性をいきなり殴打して拳銃を突きつけ**、車外に引きずり出した。更に殴打され、そのまま近くの草むらに連れて行かれた後、頭を押さえつけられたまま**所持品を全て強奪**された。強盗は邦人男性の首筋に肘鉄を食らわせ、その場を立ち去った。

事件①被害位置図



事件①教訓事項等

【事件当時の細部状況等】

- 被害に遭った時間は夜11時頃であり、昼間と比べて**前方の状況が見えにくかった。**
- 約5分前に同じ道路を車両で通った別の邦人には被害がなかった。
- 車を止めた位置は周囲に建物等何もなく、人気の無い場所だった。
- 被害者は、強盗に対し**無理な抵抗をしなかったため、殴打による怪我のみで済んだ。**
- 普段使用しないパスポートや日本の携帯電話を鞆に入れていた。

【再発防止策】

- 車両運行の際には、前方の落下物に注意。
- 出来るだけ、路肩から離れた真ん中の車線を走行。（置き石・投石等がしにくいため。）
- 歩道橋に人が居る場合には注意して走行。
（投石の可能性や、前方にいる仲間と連絡をとり車両を物色している可能性もある。）
- **車両に異常が発生しても、決してすぐに止まることなく、助けを求められる場所まで走行。**
- パスポート等、普段使用しない貴重品類は携行しない。

【警備対策官コメント】

本事件は、被害者本人に過失はなく未然に防ぐことは困難だったものと思われます。事件当時、被害者は後部座席で寝ていたため、車両の異常に気づくのが遅れ、気がつけば運転手が車両を止め、パンク修理をしていたとの事でした。一般に強盗は銃器を所持しているものと考えべきであり、万が一襲われた際には、**両手をあげ、決して抵抗しないのが鉄則です。**また、自ら財布を取り出す等、**抵抗と勘違いされる動作も決してしないことも重要です。**

事件②「拳銃強盗(未遂)」

【日時】2015年3月11日(水)09:00頃

【場所】Ruta9とRuta8の分岐点付近の側道

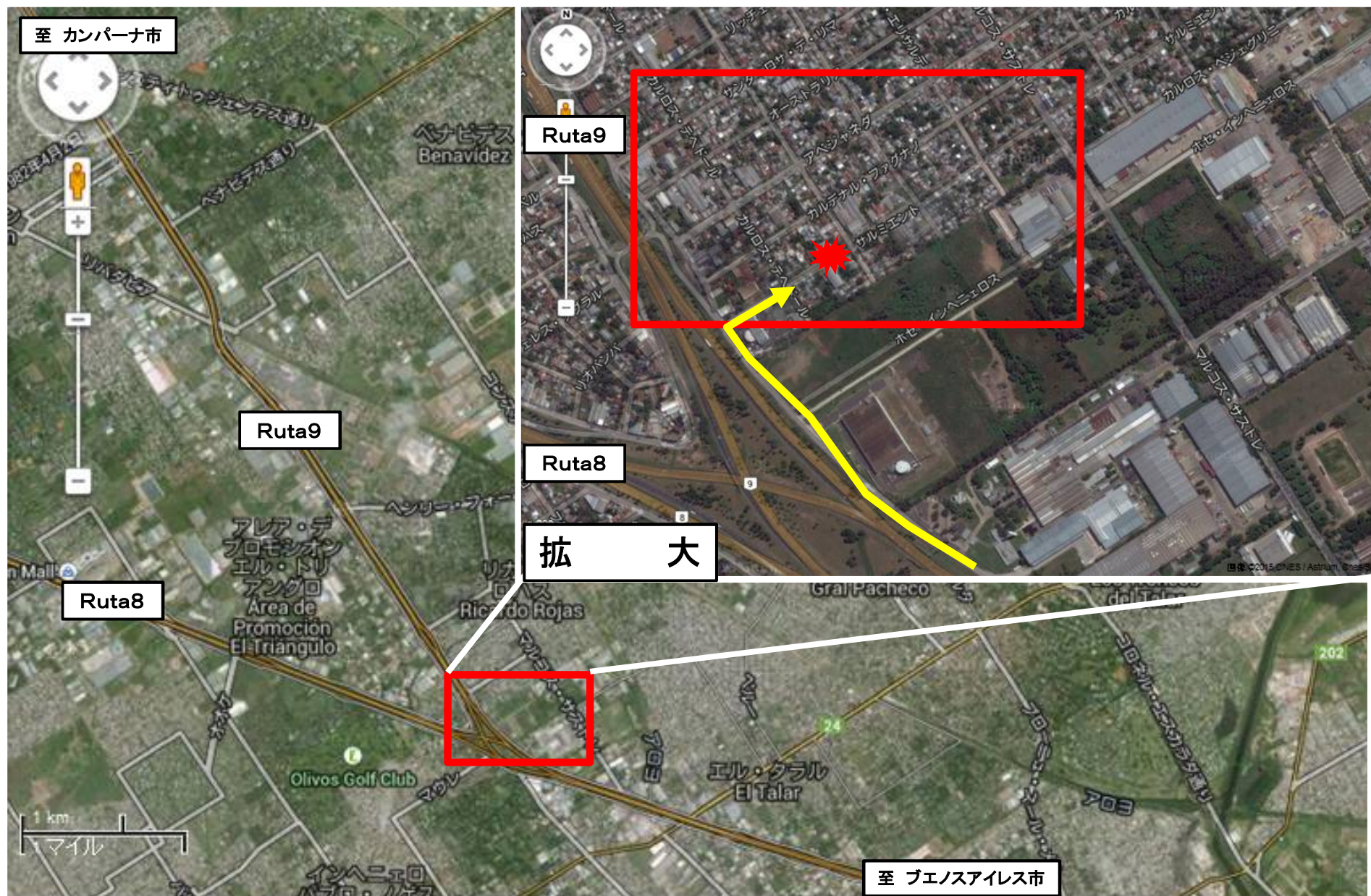
【被害】なし

【怪我】なし

【概要】

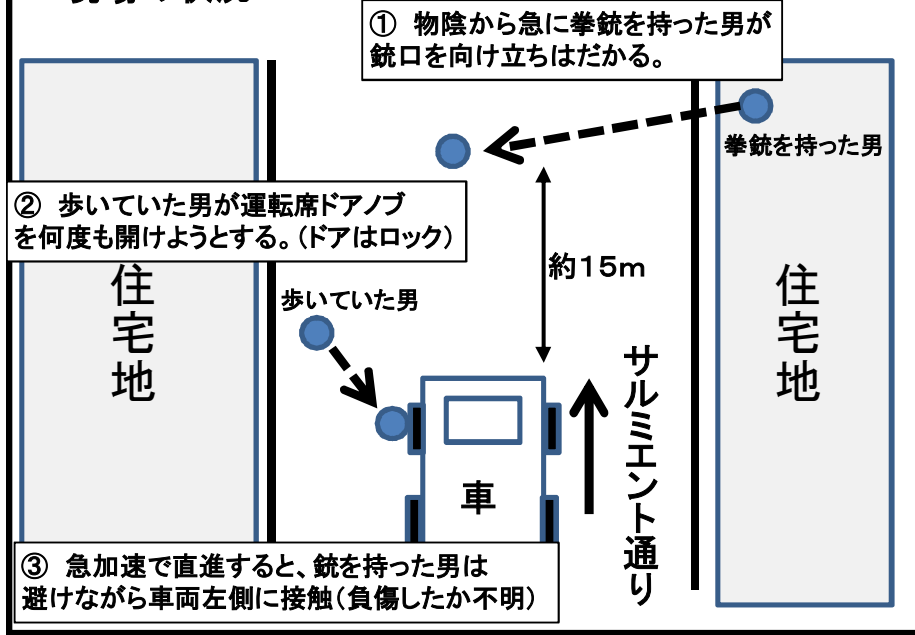
邦人男性が仕事上の取引先から別の場所へ車を自ら運転して移動中、道を間違い、あまり通らない路地を徐行通行していたところ、15m程前方で物陰から拳銃を構えた男が急に飛び出してきた。それと同時に道路を歩いていた別の男が、運転席側のドアを開けようとノブを数回引いてきたため(ドアロックしていたため開かず)、邦人男性は撃たれると思い、そのまま車両を急加速して直進したところ、銃を構えた男は避けながら車両左側側面に接触したが、そのまま車両で逃げ切った。

事件②被害位置図



事件②現場周辺図

～現場の状況～



事件②現場周辺写真



事件②教訓事項等

【事件当時の細部状況等】

- 被害に遭った時間は朝9時頃であり、明るい時間帯での犯行だった。
- 1週間前にも、同じ道路を車両で通った際には被害がなかった。(運転手あり)
- 今回初めて被害者本人が運転し、現場の道路(サルミエント通り)に入ってしまった。
- 車種はトヨタカローラ(赤)だったが、日本人が運転していると分かるものではなかった。
- 被害者は、約3年前に、現場近くで同様の銃撃事件があり、この際に急発進で逃げた(バンパーに銃弾を受けた。)事を知っていたため、反射的に同じ行動をとった。

【再発防止策】

- 車両運行の際には、事前に現地に住む関係者から地域の治安関連情報を入手するとともに、迷うことの無いよう予め地図で経路を確認しておく。
- 被害に遭った(銃口を向けられた)際には、命を守ることを最優先し、決して抵抗しないことが鉄則。(「急発進で逃げる」という行動についても「抵抗」にあたる。)
- 車両に乗っている際には必ずドアロックをかけておく。
- 誤って迷い込んだ道路では特に、周囲の状況に気を配り、不審な兆候を見逃さないように注意するとともに、何かあっても車を止めることのないよう心構えをしておく。

【警備対策官コメント】

本事件は、結果的に邦人男性に物的・人的被害はありませんでしたが、これは「運が良かった」としか言わざるを得ず、「急発進して逃げる」という対処は、誤った対処要領だったと考えます。上記再発防止策のとおり、事前にできる予防策を実行するとともに、不測の事態に際しては、自らの命を守ることを最優先し、決して抵抗しないよう気をつけましょう。

おわりに

今回の安全情報は、被害に遭われた方々から積極的に情報提供していただいた事により、詳細な情報を広く周知することができました。心より感謝申し上げます。

大使館としましては、引き続き治安関係情報の収集に努めるとともに、皆様の安全に関わる情報について広く共有していきたいと考えております。

つきましては、被害の有無にかかわらず、邦人の安全に関わる情報がありましたら、大使館までお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(※ 特に、ブエノスアイレス郊外における危険地域(ビジャ情報や強盗多発地域情報等)に関する情報がありましたらご一報いただけますと幸甚です。)

【大使館連絡先】

- 大使館代表
電話番号：(54-11)4318-8200 メール：taishikan@bn.mofa.go.jp
- 大使館領事部
電話番号：(54-11)4328-8220 メール：conbsas@bn.mofa.go.jp
- 竹熊警備対策官兼副領事
電話番号：(54-15)5327-0217 メール：kenichiro.takekuma@mofa.go.jp